



あさぎり町

議会だより

No.56
H30.5.1発行

あさぎり町議会

検索

通年議会 第5・6回会議

一般会計当初予算 2～3P
一般質問に11人が登壇 8～13P
議会報告会 14P

6年生のお兄ちゃんお姉ちゃんといっしょに（岡原小）左
皆で楽しくお弁当タイム（上小）右

平成30年度一般会計当初予算 101億9,407万円

前年度当初予算と比較すると3億22万の増

新たな歳出は、あさぎり町防災拠点センター、あさぎり町駅前振興複合施設整備基本構想策定事業、高山運動公園改修基本設計費など。

通学路の整備

3,050万円

生徒が安全安心して通学できる環境の整備を行います。

【歩道整備用地測量】黒田古町線

【交通安全対策工事】

免田百太郎線・別府線・堀場線



農業への緊急対策

2,000万円

認定農業者等を対象に農業基盤の強化の為に助成します。



平成30年度一般会計当初予算の内訳

歳入の内訳

自主財源(24.4%)24億8,674万円

町税(11.3%)11億5,280万円

町民税・固定資産税・市町村たばこ税など

繰入金(5.2%)5億2,700万円

基金繰入金

繰越金(3.9%)4億円

分担金、手数料、寄付金、財産収入など(3.6%)3億7,060万円

諸収入(0.3%)3,634万円

依存財源(75.6%)77億733万円

地方交付税(40.2%)40億9,334万円

地方債(11.1%)11億3,000万円

県支出金(10.3%)10億4,683万円

国庫支出金(9.8%)9億9,795万円

地方譲与税、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税など(4.3%)4億3,921万円

歳出の内訳

総務費(12.6%)12億8,420万円 総務管理、税務など

民生費(32.2%)32億8,477万円 社会福祉、児童福祉費など

衛生費(6.5%)6億5,948万円 保健衛生、清掃費など

農林水産業費(8.6%)8億7,539万円 農業、林業費など

商工観光費(1.7%)1億7,572万円 商工、観光費など

土木費(9.7%)9億8,772万円 土木管理、住宅、下水道費など

消防費(4.7%)4億7,740万円

教育費(10.2%)10億4,617万円 小中学校、生涯学習費など

議会費(1.1%)1億1,287万円

災害復旧費(0%)6万円

予備費(0.1%)800万円

●平成30年度当初予算額一覧

一般会計	101億9,407万円
国民健康保険特別会計	20億5,015万円
後期高齢者医療特別会計	1億9,790万円
介護保険特別会計	20億2,062万円
水道事業特別会計	6億5,061万円
下水道事業特別会計	7億6,503万円
球磨郡障害認定審査事業特別会計	550万円
球磨郡介護認定審査事業特別会計	3,369万円

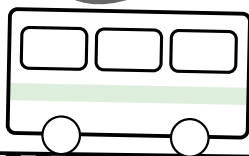
※水道会計は収益的支出と資本的支出の合計



学校施設の整備

3億4,442万円

本年度は、上・免田・岡原、3つの小学校のトイレ洋式化により、快適な校舎に改修を行います。



橋の点検と道路の整備

2億1,260万円

5つの橋の点検と、8路線の道路工事をを行います。



町営住宅の補修

7,400万円

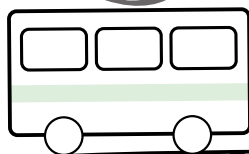
適切な時期に修繕します。
上西団地、2棟10戸



地域防災力の向上

650万円

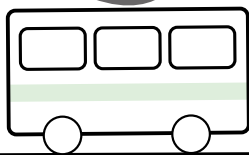
大災害時にも行政機能が維持できるよう、防災拠点施設の基本構想を策定します。



町内放送が聞こえない地域の解消

700万円

個別受信機導入の為の発信基地調査・設計業務委託します。

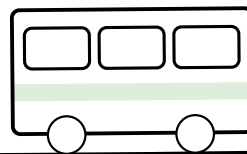


スポーツ・レクリエーションの拠点に

1,150万円

深田高山総合運動公園、全体の整備計画を行います。

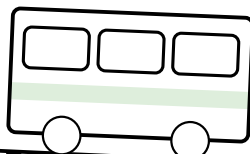
- ・グラウンド排水
- ・テニスコート張り替え
- ・弓道場設置等



あさぎり駅前振興複合施設計画

588万円

ポッポ一館をにぎわい創出を目的とした商工会活動拠点として位置付け、複合施設を整備するための基本計画をします。



小学校運動部活動が社会体育へ移行

347万円

ジュニアスポーツクラブ等への支援をします。
・体育施設消耗品
・体育施設備品



緊急通報システム民間へ委託

197万円

一部、利用されている住民の方のサービス向上の為、民間へ委託されます。



総務文教常任委員会所管課分

（総務課・会計課・企画財政課・教育委員会）

問 防犯カメラの精度アップの今後の計画は。

答 課題として解像度があるので、テスト的に検証を進める。

問 職員の健康管理でストレスチェックの効果は。

答 町の産業医と連携し、危険因子を除去し職場環境整備に努める。

問 文書配達員による独り暮らしの見守り隊の効果は。

答 各世帯各戸訪問することにより、各課と連携し、高齢者の見守りを実施している。

問 緊急出動連絡メールを機能別消防団員に配信出来ないのか。

答 機能別消防団に加入頂いた方は、配信が可能なので、再登録をお願いしたい。

問 ふるさと寄付金の拡大についての考えは。

答 返礼品等については、特徴あるものにしていきたい。

問 オンデマンド交通体制によるヘルシーランド利用の利便性対策はあるのか。

答 岡原地区の方々に一定の配慮をすると共に、他の地区との公平感を含め検討する。

問 須恵文化ホールの自主運営に幸福と健康をテーマとした事業はできないか。

答 民間の方々の力も借りしながら協議をしていく。

問 公民分館長と区長の兼務の在り方は。

答 あさぎり町は、自治公民館を公民分館としており、活動が重なる部分もあるが制度上どちらも重要である。

問 図書館をくつろげるカフェスタイルにする考えは。

答 図書館協議会においても協議したが、営業性に問題があり今後環境作りを検討する。

問 文化財保護に関する今後の対策をどう進めるのか。

答 平成29年度において、学芸員1名を採用した。退職した専門員においても必要に応じて予算措置を行い、対応を考える。

問 給食センターの安全対策と地産地消の取り組みは。

答 安全対策は、食材入荷時にすべて3回に分けてチェックしている。地産としてはあさぎり産の納入を極力お願いしている。



子ども達へおいしい給食を届けます

建設経済常任委員会所管課分

(農業委員会・商工観光課・農業振興課・建設林業課・上下水道課)

問 農業振興補助金の申請額は、昨年度と同様に要望が多いのでは。

答 3月までに要望者の状況を把握し検討する。

問 環境保全型農業直接支払制度での取り組みが一番多いものは。

答 有機農業での取り組みが一番で約39ヘクタールを占める。

問 人・農地プランの今後の進め方は。

答 今後、法人化の推進の基礎となるものに活かしていく。

問 地域おこし協力隊の募集は目的を持って地域に即した募集方法が必要では。

答 次回からは地域支援密着を明確にした募集を検討していく。

問 あさざり駅前複合施設整備基本構想策定のすすめ

方は。

答 専門知識のある業者を選定し、実施したい。

問 林業振興基金の活用を弾力的にしては。

答 基金の活用を含め、公平性・平等性にもとづき検討したい。

問 須恵地区の上水道の現状と今後の取り組みは。

答 現在の状況を十分観察しながら、今後の計画変更手続き等は状況を見て判断していく。



賑わいが求められる駅前周辺

厚生常任委員会所管課分

(税務課・町民課・生活福祉課・高齢福祉課・健康推進課)

問 滞納繰越が多く発生しており、町民に不公平感があるのでは。

答 ※併任徴収体制により、滞納整理の実績は効果が上がっている。

問 個人番号カードの所持率は。

答 取得者は1,397人で全体の8・9%である。

問 犬の登録件数と狂犬病予防接種率は。

答 登録件数は1,037頭。予防接種率は94・3%。休日対応などで接種率向上に効果が見られた。



問 町内に在住の外国人の状況は。

答 1月末において159人の方が居住している。内訳はベトナム91人、中国27人、韓国15人等である。

問 墓地公園のタウン誌掲載広告の効果は。

答 平成28年度は1区画の購入と墓碑建立、平成29年度は1件の墓碑建立があつており、今後も周知をしていく。

問 遺族会の定義と会への加入と町の助成金については。

答 会員資格は会費を支払った方で、助成金については社協に委託している。

問 生活支援ハウス事業の状況は。

答 入居者分類を14段階とし、現在3名の入居者があり、随時対応をしていく。

※併任徴収とは…県や他市町村の職員が、あさざり町職員の身分で町税等の徴収事務に従事する仕組みのこと。

厚生常任委員会所管課分

(税務課・町民課・生活福祉課・高齢福祉課・健康推進課)

の実績があり近年相談が増えている。

答

平成29年度においては、特定4件、一般9件

問

不妊治療制度の活用は。

数は2,665人。呼称については、時代の変化に整合させる必要がある。

答

円の助成で現在の会員

問

老人会への助成状況と呼称については。

ら3名。包括支援センター内にも社会福祉士を置いている。

答

人吉球磨後見人センターにはあさぎり町か

問

社会福祉士と成年後見人の状況は。

なっている。

答

視覚障がい者の手帳所持者が助成の対象と

問

難聴児及び弱視児対策は。

条例の制定

抜粋

議案第50号

あさぎり町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進する為の関係法律の整備等に関する法律第6条の規定による介護保険法の改正の為

議案第56号

あさぎり町消防団条例の一部を改正する条例の制定について

熊本県消防学校入校時の費用弁償を改正する為

議案第61号

あさぎり町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について

介護保険法及び老人福祉法の規定に基づく指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令に伴う為

議案第62号

あさぎり町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

熊本県国民健康保険実施方針との整合性を保つ為

議案第64号

あさぎり町おかどめ幸福駅売店条例の一部を改正する条例の制定について

おかどめ幸福駅売店開業に伴い使用料を定める為

発議

あさぎり町議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

あさぎり町議会議員定数を現行の 16 人から 14 人に削減するために、当該条例の一部を改正する必要があるため。

※あさぎり町議会議員の定数については、公布の日以降初めてその期日を告示される一般選挙までの間、なお従前の例による。

P15 参照

平成29年度 一般会計補正予算(抜粋)

繰越明許費（平成 30 年度に繰越して実施します）

事業名	総額
公式ホームページリニューアル事業	837 万円
ヘルシーランド改修事業	2 億 4,738 万円
ふれあい福祉拠点施設整備計画策定事業	161 万円
農業基盤整備促進事業	1,900 万円
舗装補修事業	1 億 2,506 万円
道路改良・歩道整備事業	5,222 万円
上総合運動公園改修事業	464 万円

減額補正

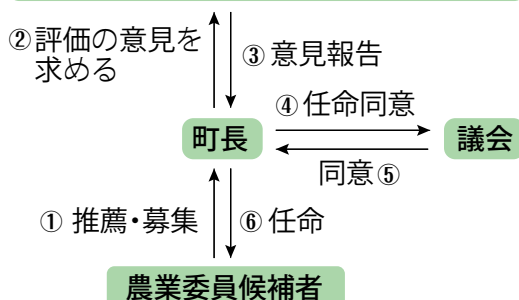
繰入金（財政調整基金繰入金）	3 億円
----------------	------

当初予算編成時に 3 億円を繰り入れたが、国民健康保険特別会計より 2 億円の繰入れ、地方交付税、繰越金、町税等の増により基金を必要としなかったため。

農業委員会選任同意

農業委員選考改正のあらまし

あさぎり町農業委員候補者評価委員会



3 月 15 日 農業委員の任命同意

今回より農業委員会等に関する法律の一部改正により、選出方法も町長の任命制に変更されたことに伴い、議会への任命同意を受け 26 名全員を同意した。

11人が登壇

責任においてそのまま掲載とします。

問

町花リュウキンカの管理状況は



永井 英治 議員

永井 町長の施政方針の中で「幸福のまちづくり」の3つのアイテムの1つにリュウキンカがある。久鹿区の丸池に自生し、日本では自生の南限であり本町の町花にも指定されているが、ここ数年株の減少や古くなった看板・朽ちかけた散策用木道等、いくつかの課題があると思うが町の対応は。

町長 リュウキンカの花言葉は「必ず訪れる幸福」。町花として大事に守っていききたい。

教育課長 現在、管理はシルバー人材センターにお願いしている。丸池の中にも湧水のある湿地の部分の株は良いが、少し高くなっている部分の株は減少傾向にある。今後は専門家の話も伺いながら管理をやっていききたい。看板等も現地を確認して対応する。散策用の



丸池のリュウキンカ

木道は、現在は朽ちている箇所を撤去しているのが現状だが、リュウキンカの保護の観点では人が中に入るのは良くないという意見もある。今後色々な意見を聞きながら考えていきたい。

その他の質問

集落営農組合の法人化について

問

北部地域における今後の農業振興は



久保田 久男 議員

久保田 北部利水事業の計画変更の同意が取れ、ようやく事業再開となり休止状態であった同事業が動き出すことになる。しかし、所期の目的が達成できないままで長期の休止の中、事業を取り巻く環境は大きく変化し、球磨川以北の活性化への影響は大きい。今後の農業振興策について伺う。

農業振興課長 現況として飼料作物が中心で、4団地55・02ヘクタールに対し、3・61ヘクタールの遊休農地があり、今後の事業として、井戸の掘削を行い、水手当ての具体的計画について農家説明会を行う。振興作物として栗の振興をJ・Aくまとタイアップして進める。



振興作物として期待される栗

久保田 今後、農地の維持管理していく中で現在の多面的交付金事業でなく、中山間直接支払い事業への移行を国に押し強く要望していただきたい。

町長 関係市町村と十分協議して、将来を見据えた対応の要望等について、国・県に押し要望していききたい。

その他の質問

町長施政方針に関する地域活性化交付金について



エンブリー博士資料館の整備で 須恵文化ホールの充実を



加賀山 瑞津子 議員

加賀山 歴史的価値の高い文化財については、全国各地の大学の先生方にも調査等で関わっていただいている鑢金獸帯鏡やエンブリー博士についてなど子供達に誇れる地域の宝についてはきちんと整理し活用すべきでは。

町長 後世に残すべきものは位置づけを明確にした上で残し、町の大事な宝として子供達や町民にも認識を持ってもらう取り組みは必要。

加賀山 文化ホールの充実としてエンブリー博士資料館の設置を再度提案する。現在文化ホールの年間の利用者数は。

教育課長 平成28年度は約24,000人程。

加賀山 文化ホールには十分な展示スペースがある。活用しない手はないと思うが。須恵地区にあまり



活用が期待される須恵文化ホール

資料や展示物がないと感動が少ないとも思う。今深田地区では住民主体で「食と歴史」についてのフットパスの活用が動き出した。住民を巻き込んだ計画と仕組み作りがポイントだと考えるが。

町長 鑢金獸帯鏡は三つの幸福物語のひとつとしてしっかり活用を図る。エンブリー博士については展示を検討する。



ICT教育のための 電子黒板導入後の成果は



難波 文美 議員

難波 ICT教育の一環として電子黒板を導入してから8年が経過したがその成果や問題点の検証は。平成21年度の交付金3,524万円で導入された際、競争の働くような入札は行われたのか。

教育課長 地元の卸業者もあり指名審査会において指名競争で執行した。

難波 29年度と30年度において57台の機器更新があるが条件は。

教育課長 メンテナンスを含めた更新でリース期間5年で支払う。

難波 具体的な利用状況は。

教育課長 小学校では一日に2、3時間、中学校では教科担任制のため教科によって異なる。

難波 ICT教育のメリット・



学びのイノベーションパンフレット

デメリットを踏まえ町の取組は成功したといえるか。また、学習だけでなく教育現場の業務効率化も担当が5年ごとに数千万円という莫大な費用のかかる事業なので今後もしっかりと検証しながら進めていくべきだ。

教育長 全生徒へのタブレットの導入は費用対効果の面から厳しいが教師の力を支える一つのツールとしては大きな効果があると思える。

町長 時代の流れで子供達をICT環境の中に置かせる大きな役割がある。

その他の質問

町長の施政方針
誰もが願う健康の取り組みについて



高齢者の自動車運転免許証返納は

奥田 昨今のニュースを見ると、高齢者運転の車によるブレーキとアクセルの踏み間違いや、高速道路での逆走による重大事故等が連日のように放送されている。高齢者といえども至って健康で元気な人もおられるし、もしも自動車運転免許証を返納するとすれば、買い物や通院等の用件がある場合は、非常に迷惑することもあると思う。しかし、連日発生する高齢者の交通事故を安易に見逃すわけにはいかない。運転免許証を返納するとすれば、なくても安心して生活できる環境づくりを目指すことが最も大切なことと思う。



ご家族が交通事故に
遭わない・遭わせないために



奥田 公人 議員

町執行部の考えと取り組みについて伺う。

町長 安心なあさぎり町であるためには、やはり事故のない車の運転が大事であり不安定な運転は減らす必要があると痛感している。

総務課長 平成28年多良木署管内では114件の免許証返納があつている。あさぎり町在住の方は70件。平成29年、多良木署管内で119件、あさぎり町61件の返納があつたという報告を受けている。

企画財政課長 デマンド型の乗り合いタクシーを現在計画中である。



深田高山運動公園の改修計画に ともなう高山一帯の整備は



市岡 貴純 議員

市岡 改修計画の中で今後、高山一帯も取り込み、スポーツレクリエーションの機能を兼ね備えた総合的な計画として取り組むべきではないか。

町長 すべてにおいて町全体の活性化を目指して取り組んでいる。スポーツゾーンの位置付けとして、グラウンド排水対策等、順次改修していく。

教育課長 社会体育施設は、30年度において改修基本計画を実施する。

総務課長 アクセス道に対策を講じなければならぬ認識はある。街灯等の防犯対策、道路環境等も確認し進めるべきと考える。

建設林業課長 旧深田中前からの道路は30年度より用地買収に入り、当周辺整備は年次計画で進める。

高齢福祉課長 高山荘は30年度末もち機能廃止とし、今後は利用者の方々と意見交換会を行い今後のあり方を



運動で元気度アップを目指す為の一体的整備を

検討する。

農業振興課長 定住センターを管理している。今後も地域住民の社会活動及び町活性化活動の拠点として多目的な活用を図り利用して頂きたい。

商工観光課長 深田地区フットパスについては、食と農のリユウキンカ様が進めて頂いている。



文化財の保護、維持補修に 町の強力な支援を

溝口 文化財の保護、維持補修には町が強力な支援をしなければ、今後、地域で保存、継承して行くのは難しくなるのではないかな。

副町長 本年度を含め、現行の維持修繕の補助率の見直しを含め通常の保全に係る経費についても改めて検討し地域の負担軽減に努める。

溝口 29年度から3年間、農業振興補助制度を設けて農業者支援をしている。30年度から新たに林業者支援として林業振興基金（2億円）を設けて機械等の購入補助制度ができた。一方、町が力を入れている6次産業に取り組んでいる事業者への支援も行わなければ販路拡大事業の成果も上がらないがどのように考えているかな。

副町長 産業活性化基金を活用して事業者の意向に応えたい。

溝口 企業誘致及び地場産業の拡



溝口 峰男 議員



相良三十三観音三十番札所 秋時観音

本尊の十一面観音菩薩立像・脇侍の毘沙門天立像と天部形立像は室町期の作です。

大に対して一歩進んだ支援策を設けて雇用の場の確保に努めるべきではないかな。

商工観光課長 他の市町村にあってあさざり町にない優遇策もあるので、産業活性化基金の活用も踏まえ新たな制度を考えていきたい。



町の各種審議委員を公募する考えは



橋本 誠 議員

橋本 町の各種審議会は56団体と聞いているが、職を兼務されている方は、どれだけおられるのかな。

総務課長 一番多い人は8団体の審議会に籍を置いている。

橋本 町政が身近に感じられるように、各種審議会委員の一部を町の活性化の為に公募する考えはないかな。

総務課長 公募委員の規定を設けている自治体は全国に多く有るが、現在あさざり町では行っていない。

町長 公募も一つの案と考えるが、まずは兼務を減らしていく事が、



公有財産利活用審議会

で広く構成メンバーを募り柔軟にやっていきたい。

その他の質問

温泉施設の再構築について





公共施設等総合管理計画の実施は

公共施設等総合管理計画とは

あさぎり町が保有する公共施設の多くは、老朽化が進行しており、今後、公共施設の維持、更新に要する経費の増加が予想されます。

現況の施設をすべて維持するならば、今後40年間で544億1,000万円という巨額の費用が見込まれ、近年の公共施設への投資的経費4億9,000万円と比較すると、毎年2.8倍の予算が必要となり大幅な財源不足が生じます。

しかしながら、公共施設は町民のさまざまな活動の場として、道路、橋梁等のインフラ施設は住民生活に欠かせないものとして、適切に維持していかなければなりません。

本計画は、将来にわたり公共施設等を維持するための更新費用を見据えながら、町全体の公共施設等の更新や廃止も考慮したうえで管理方針を示すとともに、施設用途別の方向性を定めることを目的として策定しています。



久保 尚人 議員

久保 10年で10%の人口減少が進むなか、公共施設の更新費用の大幅な財源不足が明らかだが。

総務課長 計画を推進していく中で、どのように維持保全及び売却、処分を行っていくかを検討していく。老朽化、未利用の財産は、廃止解体の方向でスピーディーに進めていきたい。

町長 基本的に合併特例債を使って公共施設等の処分をし、費用削減をしていく必要がある。

久保 空き施設や低利用率の施設

が多数あると、運営管理のための金と人が分配されて、不要な行政コストがかかってしまい自治体全体の経営のパフォーマンスが落ちてしまう。行政コストを削減するため、町の枠を超えた共同利用という形も必要になるのでは。

町長 そういう取り組みでやるべき項目は多く出てくると思う。

久保 小さい自治体ほど、1人当たりの施設面積が大きい傾向にあり、財政の負担はますます増える。個別計画で客観的評価ができる白書づくりは。

総務課長 公共施設マネジメントシステムを導入し、個々の施設のデータを入力した「施設カルテ」を作成する。毎年度データを更新し各施設の姿を明確にしてマネジメントに努めていく。



有機センターの今後は



豊永 喜一 議員

している。

豊永 今後の方向について、無償譲渡あるいは無償貸付けとか方法があるが、いつまでに判断するのか。

町長 30年度において、しっかりと今後どういう形で、全面的な引継ぎがお願いできるかどうか、見極めて検討したい。

その他の質問

生ごみ処理と資源ごみについて

豊永 あさぎり町有機センターは、平成7年に国庫補助事業により建設され、施設・機械も経年劣化による損傷が目立ち、堆肥製造等に支障が生じている。平成24年からは、生ごみ処理を開始し、現在は月平均約30トン进行处理し、あさぎり町の燃えるごみの削減にも貢献している。指定管理者を民間に委託しているが、有機センターの今後について、現状と課題を問う。

農業振興課長 建設から20年以上経過し施設の老朽化により、計画的に施設の修繕や機械の更新を行っている。平成24年10月から現在の指定管理者の方が業務を行っている。堆肥の製造販売は、牛糞や鶏糞などとあわせ、木灰や生ごみを活用し、販売業績も伸びており、今後も活躍を期待



あさぎり町有機センター



幸福のアイテム（項目・品目） を広げる考えは

小見田 施政方針における「幸福のまちづくり」で3つのアイテム「お

かどめ幸福駅」「リユウキンカ」「鑒金獣帯鏡」で「3つの幸福物語」を作り上げて、ライトアップ等を行いたいと述べられている。片方、周辺

部の住民は色々な施設が閉じられ、空き家も増え続け、灯は減るばかりで寂れ感を否めない状況である。今すぐ周辺部にも同様な施策を講じる

事は出来ないまでも、いずれは、末端までも陽を注ぐという気持ちを表し、届けるべきではないか。

町長 今進めているのは、的を絞ってスポットを当て、それが拡がっていくイメージでいる。しかし、特定の所に今集中している様に映っていると思うので、周辺部



小見田 和行 議員



周辺部にもアイテムが

への配慮も現わす事も真剣に考えてみたい。

その他の質問

- ・第3セクターへの補助金、指定管理料と繰り出し規準について
- ・公共施設適正配置計画検討委員会設置について
- ・集落営農組織の法人化について

第14回 中部ふるさと会総会に参加して

4月15日（日）、名古屋中日パレスで開催された総会に愛甲町長・山口議長・溝口・久保田・小見田議員・椎葉参事と6名で参加しました。

総会での事業報告では、あさざり中学校へ卓球台の寄贈等の報告、新年度計画では、9月に会員の親睦としてふるさと探訪等が提案され承認されました。



親睦会では、私たちはそれぞれ出身校区テーブルに入り、それぞれ終始にぎやかな懇談となり交流を深めました。「〇〇ちゃんはたっしゃしいやっどか」「そぎゃんなあー」矢継ぎ早に質問攻めにあいながら、会員さん方のふるさとへの想いの深さを感じた機会でもありました。今年の参加は75名で、例年より少ない参加でしたが、高齢化による会員減少に歯止めをかけるためには、町民の皆さん方の紹介等よろしくお願いします。

永年在職議会議員表彰

本町議会、溝口峰男議員が、町村議会議員として27年以上在職し功労があり、全国・県より表彰されました。今後にご活躍を期待いたします。



1 月 25 日に行われた議会報告会において、町民のみなさまより受けた質問を、2 回に分けて報告致します。

(質疑内容) 抜粋

議会報告会

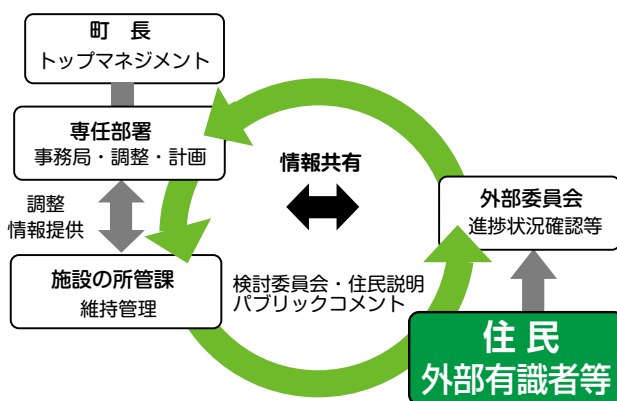
議会活性化特別委員会委員長 小見田 和行

① 公共施設等総合管理計画について

問 公共施設マネジメントにおける、住民参加型の合意形成システムを作ってはどうか。

【その後の対応】

一般質問で、その旨の質問を行ったところ、執行部の考えは、現在条例化されている「公有財産利活用審議会」に、その任を充てたいということである。しかし、この条例の中に公共施設等総合管理計画を明記すべきではないかとの要望もなされた。



② 議場移転について

問 防災拠点との複合利活用も選択肢の一つとなると思うが、検討をお願いしたい。

【その後の動き】

30 年度予算において防災拠点基本構想策定委託料 650 万円が可決され、構想策定が始まる。議会もそれを注視していく。



あさぎり町議会議事堂(旧上村中央公民館)

議会活性化特別委員会中間報告

委員長 小見田 和行

①議員定数について

近隣町村をはじめ同規模自治体での定数削減方向を考慮し議論を重ねながら、町民の意識等を伺う機会を設けた。行財政改革を自ら率先していく立場上、現行16人の議員定数を削減し14人と決した。

②議場移転について

防災拠点センターとの複合利用案もあり、センター建設の動向に注視し議論を継続していく。

③タブレット導入について

ペーパーレス化による経費削減はもとより議員も利便性の向上、事務局の負担軽減など、行政・議会運営上、様々な効果に期待ができるので、30年度の予算計上を要望している。

④議会報告会について

出席者増に向け、工夫していく。

ヘルシーランド 及び ふるさと振興社調査特別委員会中間報告

委員長 溝口 峰男

①ヘルシーランド改修工事の工期延長について

既存の取り壊しにおいて、細かい部分の人力施工で必要な部分が想定より多くなっている。また、熊本地震の影響で、慢性的な資材の調達に遅れが生じ、併せて労力確保が十分できない状況から6月30日までの延長はやむを得ない。ただ、このような状況を見ると当初の工期設定（4ヶ月）には無理があった。早期完成を待ちわびていた町民に対する説明をしっかりと行い1日も早い完成を施工業者に協力願うこと。



進捗状況の視察確認

②ふるさと振興社の在り方について

3ヶ年の中期経営計画の検証を行ってきたが、年々売り上げも減少してきており抜本的な見直しが必要である。物産館（農産物販売所）がヘルシーランドへ移転することから加工場の指定管理についても今後検討しなければならない。31年3月31日迄、物産館及び加工場の指定管理をふるさと振興社に継続させること、併せて関連する予算を承認すべきものと決定した。

常任委員会及び一部事務組合報告

総務文教常任委員会

○1月22日(月)

請願書・防災対策基本条例の制定について

今後、条例案を作りあげて行く過程として、町民や有識者、防災士の方々等から様々な意見を頂く場を設ける事を確認した。

○2月20日(火)

小学校運動部活動の社会体育移行について

社会体育移行検討委員会の答申と基本方針、指導者の募集状況等の説明を受けた。

委員からは、答申にもある通り、指導者の確保と資質の向上に向けた取り組みを早急かつ継続的にやってほしいという意見であった。

○3月1日(木)

行政区への財産の無償譲渡について
現在、消防詰所など部の統合が



現在の社会体育活動 (少年野球)

あれば空いていく詰所等の施設を、地区で使用させてほしいという要望が出ている事から、規則の改正をしたいとの説明を受けた。委員会としては、無償譲渡が無償貸し付けか難しい判断になると思うが、しっかりとした対応を望むとの意見であった。

建設経済常任委員会

○12月21日(木)

有機センター施設及び機械等の利用状況について

社長・センター長の案内で施設内の現況と更新及び改修予定の機械等を視察説明を受ける。視察後、研修室に於いて両氏と今後の更新計画等について意見交換を行う。

○1月19日(金)

林業振興基金補助金交付要綱について

有機センター事業について

旧深田中跡地の利活用について

関係所管課から説明を受け審議・協議する。

○2月15日(木)

平成30年度建設林業課所管主要事業について

委員会付託案件審査

・百太郎溝沿線通学路の拡幅改善要望書について

・町道宮床線・吉井亀の甲線交差点

改良要望書について
両要望書については、委員会として継続することで決定する。



更新が望まれる堆肥攪拌機

○3月1日(木)

総務文教・建設経済合同常任委員会
あさぎり町産業用地分譲条例の制定について

執行部より説明を受け、審議の結果、合同委員会としては案件通り全員協議会に諮ることを決定する。

厚生常任委員会

○1月15日(月)・16日(火)委員会研修

- ・いちき串木野市ころばん体操
- ・垂水市地域包括ケアシステム
- ・南さつま市健康ポイント事業

各地域研修を踏まえ、あさぎり町においては、現在実施の「いきいき100歳体操」を今後増々充実すべくと考え、地域包括ケアシステムにおいては、郡の医師会・公立多良木病院企業団の医師との連携をさらに図るべきとの意見であった。



住民主体で運営するいちき串木野市ころばん体操

町の取り組む健康ポイントについても、各市町村アイデアを出して検診率の向上をされており、南さつま市の例によるグループポイントも一策と考える意見であった。

○2月20日(火)

平成30年度高齢福祉課所管重要事業について

あさぎり町介護保険条例の一部改正の説明があり、平成30年度から3年間の第7期介護保険事業計画の中で、基準額を7万8,000円、月額で6,500円とし国の標準として定める案件について協議した。委員会としても現状と将来を鑑み、執行部案を了承した。

ふれあい福祉センター再編等に係る意見聴取について

地域代表との様々な意見交換が行われ、今後の計画内容を検討し、取り組んでいくとの報告を受け、委員会も了承した。

上球磨消防組合議会

○2月28日(水)

第1回定例会が開催され、平成29年度上球磨消防組合一般会計補正(第3号)、平成30年度上球磨消防組合一般会計予算は、歳入歳出それぞれ16億3,300万円とした。主なものとして庁舎建設費等。

- ・あさぎり町の負担金は、
- ・一般負担金 2億5,562万円
- ・整備負担金等(防災無線負担金含む) 4,818万4,394円
- ・公債費負担金 2,163万1,000円

となっており、議案5件を原案の通り可決。一般質問では、あさぎり町選出の市岡議員が「軽軌急車の地域における必要性」について問う。

人吉球磨広域行政組合議会

○3月2日(金)

第1回定例会が開催され、日程第1、第13までを審議

- ・人吉球磨広域行政組合人吉球磨ふるさと市町村圏基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について、補足説明を受け条例案件を採決。
- ・平成29年度補正予算の質疑・採決。

・平成30年度当初予算についての提案を受けた。

○3月28日(水)

- ・平成30年度一般会計予算を可決。
- ・日本遺産人吉球磨観光地域づくり協議会を設立。平成30年度当初予算に3,800万円。
- ・特別養護老人ホーム「福寿荘」民営化検討委員会より

「民営化については妥当である」との答申があり、今後のスケジュールとして31年度に公募、32年4月移譲法人による運営開始予定。

公立多良木病院企業団議会

○3月5日(月)

第1回定例会が開催され、全議案8件が原案通り可決された。

主なものとして、障害児者の方を対象としたいわゆるレスパイト入院を空きベッドを利用して行う医療型短期入所事業に取り組むために条例を一部改正した。

平成30年度の病院企業団全体の予算は収益41億5,248万7千円、費用42億8,347万2千円、損益1億3,098万5千円の損失を見込んでいる。

※レスパイト入院とは…在宅介護などで介護者が日々の介護に疲れを感じ、介護力の限界を超え、介護不能となることを予防する目的で短期間行う入院。



町の声

若者が自信を持てる農業へ

私は人吉球磨の女性農業委員で構成しますネットワーク会長をさせて頂いております。

毎年農業後継者の青年を対象とした婚活パーティーの企画開催をしたり、新規就農者激励会に参加し若者と交流を深め情報交換に努めています。そこで私が議会に要望したいのは農業就農者への支援です。

現在国の次世代人材制度は縛りが強く本来の農業後継者には受給が厳しいのが現状です。この壮大なあさぎ町の農地を次世代に引きつぎ農業生産率を上げる為にも、親元就農者への支援制度を町に強くお願いしたいです。若者が自信を持って農業が出来る制度をお願いします。



岡原（熊野）

宮原 久子 さん

子供たちのために



上（今井）

福島 伸也 さん

私は、小学校のPTA役員をさせて頂いております。現在子供たちを取り巻く環境は、かなりのスピードで変化していく中で様々な課題や問題を抱えています。

保護者だけでは困難な課題や問題の解決は、先生・地域の方々・関係団体と協力、協働していかなければなりません。子供たちは家庭・学校・地域で学び成長していきます。PTAは大人の学びの場でもあります。各学校の催しや、あさぎ町でも教育講演会・研修会等開催されていますので、まずは参加して頂きたいです。

学校での子供の様子や地域のこともよくわかりますし、先生とのコミュニケーションもとれます。いろんな活動に参加することによって自分自身が成長し、子供たちに安心感を与え健やかな成長に繋がっていくと思います。

編集後記

新緑がまぶしい季節となりました。この春、新一年生になった子供達も、学校には少し慣れた頃でしょうか。登下校時の見守り活動よろしく願います。可愛い子供達が大人になって家庭を持てる町を創るのは、今を担う我々、大人の責務だと思います。

時流に対して、地方議会、議員は微力でも「若者が残れるまちづくり」の夢を目指します。この様な想いも「議会だより」に散りばめているつもりです。ご愛読いただきご意見を寄せていただければ幸いです。

（小見田 和行）

編集・発行責任者

議長 山口 和幸

広報調査特別委員会

委員長 市岡 貴純
副委員長 難波 文美
委員 徳永 正道
森岡 和行
橋本 誠